



2026 年 8 月 5 日

各 位

会 社 名 三 信 電 気 株 式 会 社
代表者名 代表取締役 社長執行役員（CEO） 鈴木 俊郎
（コード番号：8150 東証プライム市場）
問合せ先 取締役 常務執行役員 経理本部長 村上 淳一
（TEL 03-3453-5111）

第 2 四半期（中間期）の連結業績予想（上方修正）に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026 年 5 月 14 日に公表した 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）の連結業績予想を下記の通り上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

（1）修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	83,000	1,600	1,300	1,000	81.68
今回修正予想（B）	86,000	2,300	2,000	1,600	130.69
増減額（B－A）	3,000	700	700	600	
増減率（％）	3.6	43.8	53.8	60.0	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （2026 年 3 月期第 2 四半期）	87,781	3,269	2,919	2,526	206.55

（2）理由

当社グループには、主に半導体や電子部品の販売や技術サポートを展開しているデバイス事業と、主に I C Tソリューションを展開しているソリューション事業の 2 つの事業があります。

当第 2 四半期連結累計期間におきましては、4 月から 7 月までの進捗状況ならびに 8 月以降の見込みを精査した結果、デバイス事業は中長期的な需要拡大が見込める市場として拡販を強化してきた車載やデータセンター用ストレージ向けの販売が好調に推移する見込みであること、ソリューション事業は官民双方における D X 投資の活況を背景にネットワークシステムやアプリケーションシステムといったビジネス・ユニットをはじめ、各分野とも総じて好調に推移する見込みであることから、両事業ともに当初計画に比べ売上高やセグメント利益が上回る見込みとなりました。この結果、前回発表した予想数値を上記の通り修正するものであります。

なお、通期業績予想につきましては、上記の修正要因との関係性を含む第 3 四半期以降の業績計画につき精査が完了していないこと、また一部の取り扱い製品につき調達懸念があることなどから、現時点では 2026 年 5 月 14 日に発表した予想数値を据え置くことといたしました。今後、通期業績予想数値の検証作業を進め、その結果、修正が必要な場合には開示する予定です。また、1 株当たり配当額の予想数値につきましても、通期業績予想の修正を行う場合には、連結配当性向 50％を目途とした配当方針に基づき修正を検討いたしますが、現時点では 2026 年 5 月 14 日に発表した予想数値を据え置くことといたしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。

以上